

三島地区実技研修報告

日時 7月28日(金) 14:00~16:00
会場 吹田市立第六小学校 図工室
内容 実技「コンテとパスを使った基本と応用技法」
講師 (株)サクラクレパス 鈴木 啓太先生

三島地区では、サクラクレパスさんの鈴木さんをお迎えして、「コンテ」の技法に特化した研修をしていただきました。吹田市ではほとんどの学校で、中学年以上の図工において、クレヨン、クレパスを使う機会が少なくなるので、鈴木さんは「中、高学年でもパスやコンテを使用するきっかけになれば。」とおっしゃっていました。

〈準備物〉カラーコンテ・白パス・カッターナイフ・ぼかし網、その他それぞれの技法に合わせて、たくさんの準備物を鈴木さんに用意して頂きました。

1. コンテで描く線 (今回はサクラコンテパステルを使用) 一本のコンテを使ってさまざまな太さの線が描けることと力を入れ具合で違うさの線画欠けることを体感。(線を描く。力を抜いて描く。面を使って描く。)



2. 指でぼかす グラデーションを出すことができる。コンテで円を描き、中を塗りつぶして指で色をぼかしていく。(コンテの一番基本の使い方)



3. 消しながら描く

コンテで塗りつぶした画面を消しゴムで消しながら、絵を描いていく。浮かび上がってくるような見え方が特徴。



4. コンテを削る

- ①コンテをぼかし網やカッターナイフで削り、その粉を水に浮かばせる。
- ②画用紙をそうっと水に潜らせると、コンテの粉が画用紙に付着する。



5. 白クレパスとのコラボ

- ①白クレパスで画用紙に絵を描く。
- ②その上からぼかし網でコンテを削り、粉を振りかける。
- ③画用紙を水平にゆっくりと振るう。
- ④クレパスの筆跡にコンテの粉が付着し、絵が浮かび上がる。



それぞれの技法や、それによってできあがっていく作品を想像して、ワクワクしっぱなしの研修でした。2時間という設定時間がとても短く感じられ、もっと知りたい、もっと描きたいという図工に対する思いが強まりました。楽しく、ためになる時間を提供して下さった鈴木先生に改めてお礼申し上げます。